

科目名 (科目番号)	臨床実習Ⅲ (平成24年度以降入学生) (062333)	教員名 福山勝彦・他	学科等	理学療法	必修	履修年次	4
			曜日・時限等	実習		単位数	14
			オフィスアワー		福山研究室他		
授業概要	臨床実習と症例報告会、症例報告書の作成を行う。これまでの学内の知識・技術に対する学習内容ならびに臨床実習Ⅱの経験を踏まえて、臨床実習指導者の指導の下で評価と治療および効果の検証を経験する。これらの経験を通して個々の症例に対応する能力を獲得する。また担当教員の教示を得ながら、症例に関する情報を論理的に整理した症例報告書を作成する。						
準備学習	3年次までに学習した知識の整理を行い、実際の臨床場面に応用できるように準備しておくこと。また、臨床実習Ⅱにおいて課題となった検査・測定などの知識や技術を各自復習しておくこと。						
授 業 計 画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
		(オリエンテーション)	<ul style="list-style-type: none"> 臨床実習Ⅲの目的および概要の説明 実習関係書類の作成、事務手続き等 その他、実習を行う上で必要な事項 				
	1	臨床実習 7週間	学習内容: 臨床現場において、実習指導者の指導のもとに、患者様への評価・治療法の見学と評価・治療手技の実践を行う。 到達目標: 実習指導者の指導のもとに治療プログラムを立案及び実践することができる。				
	2	臨床実習 7週間	学習内容: 臨床現場において、実習指導者の指導のもとに、患者様への評価・治療法の見学と評価・治療手技の実践を行う。 到達目標: 実習指導者の指導のもとに治療プログラムを立案及び実践することができる。				
3	症例報告書・ 症例報告会	学習内容: 【症例報告会】実習で担当した1症例について、学内で報告を行う。 【症例報告書】実習で担当した1症例について、情報を論理的に整理した症例報告書を作成する。 到達目標: 症例について論理的にまとめ、報告することができる。					
成績評価の方法・基準	以下の学内評価、学外評価から総合的に評価する。 (1)学内評価:①症例報告会、②症例報告書、③実習ノート (2)学外評価:総合臨床実習報告書の臨床実習指導者評価						
教科書	標準理学療法学 専門分野 臨床実習とケーススタディ(2年次購入済み)		編集 鶴見 隆正		医学書院		
参考図書	臨床実習フィールドガイド		石川 朗; 内山 靖; 新田 収 編		南江堂		
教員からのメッセージ	実習は患者様と病院・施設の理解がなければ成り立ちません。このことを忘れずに真摯に実習に取り組んでください。臨床実習Ⅱと同じように、知識と技術の復習や心身の調整を十分に行ってください。また、心配なことがあれば、早めに理学療法学科教員に相談して解決してください。						